

新川くんの新しい水耕実験です。



彼は4年次にサゴの水耕試験にトライし、失敗しました。そして、水耕液濃度を下げることによってうまくいくことを見いだしています。その経験を生かして今回は本実験です。結果は1年後にご報告です。

サゴサッカーの養生です。排水路に筏を浮かべてサッカーを養生します。



ワーカーさんが排水路に入りサッカーを引き上げてくれます。大きなサッカーです。



引き上げられたサッカーについている余分な部分を落としています。ナサルディンがやってくれました。



車でベースキャンプまで運びます。約 10 分の距離です。



ナンバリングをし、新鮮重を計ります。平均新鮮重は約 2.6kg。この平均重に近いものを選抜します。今回は約 80 本のサッカーから 30 本を選びました。



その間に、水耕の準備です。ピートウォーターをドラム缶に入れます。約 200l の水が入ります。





これがひとつずつのドラム缶です。それぞれにナンバーが振ってあり、このほかに区番号、処理内容が書かれます。どのドラム缶がどの処理かすぐにわかります。



肥料を混ぜています。前回の失敗から今回は尿素量が減っています。



全て新川くんの指示のもと一糸乱れず作業が進みます。



1 ドラム缶に1 サッカーを針金で安定させます。既に出ていた葉身は切り落とします。



全部で25 ドラム缶。5区（5処理）の5反復です。経過が楽しみです。ちなみに、生育経過等はプランテーションが測定します。新川くんは日本から遠隔操作です。